

## ▶ 全国茶品評会 褒賞授与式に出席

11月16日、宇治市文化センターで行われた全国一のお茶を決める全国茶品評会の褒賞授与式に出席しました。今年8月に行われた同品評会のかぶせ茶の部で全国から100点が出品された中、舞鶴市からの出品茶が入賞した。外観や香気、滋味などを審査され次のとおり受賞されました。

### 《かぶせ茶の部》

- ◆農林水産大臣賞（1位）…南範男さん
  - ◆農林水産省生産局長賞（2位）…増茂義郎さん
  - ◆産地賞（団体の部・1位）…舞鶴市
- ▶詳しくは、農林課（☎66・1023）へ。



▲山田知事から賞状を受け取る多々見市長

## ▶ 首都圏観光プロモーション

11月9日、舞鶴の特産品や観光スポットをPRする「首都圏観光プロモーション」を国際連合大学前（東京都渋谷区）で実施。

農水産物の知名度アップや観光ブランドの情報発信を行い、本市への誘客につなげようと（一社）舞鶴観光協会と連携し実施した。

舞鶴かまぼこや干物類などの水産加工品、万願寺甘とうや佐波賀だいこんなどの農産物を販売したほか、観光パンフレットを配布し舞鶴の魅力をPRしました。

▶詳しくは、観光商業課（☎66・1024）へ。



▲舞鶴産の農水産物を販売

## ▶ チャレンジファンドの採択事業決まる

新たなビジネスモデルの構築や新商品の研究開発などに必要な経費を助成する「リーディング産業チャレンジファンド」の採択事業が決定。

10月4日、商工観光センターで公開プレゼンテーションが行われ、来場者の評価、有識者の意見を参考に8事業の中から2事業を採択しました。採択事業には各500万円が交付されます。

▶詳しくは、産業振興・雇用対策課（☎66・1021）へ。

事業名	地産地消建材 NEW赤れんがプロジェクト	スポットカシメプレスの事業化
事業者名	(株)DIY STYLE	(株)エナミ精機
事業概要	軽量化と断熱化を備えた手軽な「NEW赤れんが」を開発、商品化。市街地の景観形成に活用し、オーダーメイドの軽量れんが製造事業へ展開を図る。また、「赤れんが工房」を開設し、観光誘客や国内外の赤れんがを有する地域への進出を目指す。	金属同士の接合法として利便性の高いカシメ接合で、多品種少量生産の現場に大きな費用対効果を生み出す廉価型の装置を開発。従来よりも広い範囲の業種のほか、海外メーカーも視野に入れた事業展開を実施する。

## ▶ 青葉中学校で学校給食を開始

12月17日(火)から青葉中学校で給食が始まります。スクールランチ方式で実施し、市内の中学校では5校目。市の栄養士が栄養バランスを考え献立を作成し、食物アレルギーのある生徒には除去食も準備。給食費は1食300円で、成長期にある中学生に、安心・安全で栄養バランスのとれた給食を提供します。

なお、来年度から城南・城北中学校でも給食を開始する予定です。

▶詳しくは、学校教育課（☎66・1072）へ。



▲10月から始まった白糸中学校の給食の様子

# 地域の身近な福祉の相談役

～新たな民生委員・児童委員が決定～



地域の皆さんの最も身近な相談役として、地域福祉の中心的な役割を担っていただく民生委員・児童委員249人と、主に児童問題に取り組んでいただく主任児童委員32人が決まり、厚生労働大臣の委嘱状を伝達しました。いずれも任期は12月1日から3年間。

誰もが安心して生活するためには、民生委員・児童委員と地域の皆さんとの協力が必要不可欠です。皆さんの力でよりよい地域づくりを進めていきましょう。

お住まいの地域を担当する民生委員・児童委員や主任児童委員が分からない場合は、地域の自治会長（区長）か保健福祉企画課にお尋ねください。

### 民生委員・児童委員の役割を紹介

#### 《民生委員・児童委員とは》

社会福祉の増進のため、常に住民の立場で相談に応じ、関係機関へのつなぎ役として地域で活動いただく府の非常勤特別職（地方公務員）です。

#### 《選出と決定方法》

人格識見が高く、広く社会の実情に通じ、かつ社会福祉の増進に熱意のある人を各自治会（区）から推薦いただき、市・府の推薦会を經由し厚生労働大臣が委嘱します。

#### 《主な活動内容》

主な活動は次のとおりです。①地域住民の皆さんの生活実態の把握②福祉に関する相談に応じ、助言などを行う③福祉サービスの情報提供④社会福祉事業者との連携⑤福祉事務所などの関係行政機関への協力など

#### 《役割や義務》

職務遂行にあたっては、個人の人格を尊重し、平等な取り扱いを行うという規定があります。また、個人の秘密に触れることが多いため、民生委員法により守秘義務が課せられています。

▶詳しくは、保健福祉企画課（☎66・1011）へ。

## 寄付金・寄贈品など

# 温かい善意をありがとうございました

平成25年10月31日までに市に寄せられた寄付についてお知らせします。頂いた寄付金や寄贈品などは、皆さんの志に沿って活用させていただきます。寄付していただいた皆さんは次のとおり。なお、匿名の人については掲載していません。（敬称略）

《企画政策課、保健福祉企画課》

#### 《台風18号災害義援金》

9月に発生した台風18号による災害以降、たくさんの方々から温かいご支援とご協力をいただいております。心から感謝いたします。

#### 《寄付金》

◆個人…高田一重（吉田）、山本巖（吉野）、山本友和（吉野）、小西唯丹（城陽市）、毛受正和（吹田市）

◆団体…幸友社、全京都建築労働組合舞鶴支部、舞鶴アマチュアカラオケ連盟

#### 《寄贈品》

毎日新聞京都・兵庫専売会連合会（車いす）

#### 《災害見舞金》

京都市市長会、全国市町村振興協会、京都市市町村振興協会、水戸市、全国都市職員災害共済会